

# アーティストにとっての 故郷、大学、美術館

数多くのアーティストを輩出し、昨年京都駅東側に全面移転した京都市立芸術大学。その学長・赤松玉女さんに、移転後の京都芸大における「シン・創造の現場」をご紹介します。移転によって大学はどのように変わったのでしょうか。アーティストが身をおく「場所」と創造、創作との関わりとは？ 兵庫県尼崎市のご出身でアーティストとしてもご活躍の赤松さんに、場所と創造、大学と美術館が担うそれぞれの役割についてもお話を伺います。

2024年

## 6月16日[日]

14:00 - 15:30 受付開始 13:30 -  
兵庫県立美術館 レクチャールーム

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 〒651-0073  
(最寄駅: 阪神岩屋駅/JR灘駅/阪急王子公園駅)

先着順(定員80名)・参加無料

講師 画家 京都市立芸術大学学長

### 赤松 玉女氏 AKAMATSU Tamame

画家。1959年兵庫県尼崎市生まれ。1984年に京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻(油画)修了後、国内外の美術館やギャラリーでの展覧会を中心に活動。油彩、水彩、フレスコ技法など、画材や技法を組み合わせた絵画表現の可能性を研究。イタリアでの創作活動などを経て、1993年に京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻教員に着任。2018年度から同大学美術学部長。2019年4月から現職。2020年度尼崎市民芸術賞、2021年度亀高文子記念一赤艸社賞。

聞き手 当館館長

### 林 洋子 HAYASHI Yoko

美術史研究者、キュレーター。パリ第一大学にて博士号取得。東京都現代美術館学芸員、京都造形芸術大学教員、文化庁芸術文化調査官を経て、2023年4月より現職。現代美術ならびに藤田嗣治関係の展覧会企画や著作多数。



Photo Y.Taguchi